

第 55 回全国保育団体合同研究集会 集会宣言

2023 年 7 月 29 日～31 日の 3 日間、第 55 回全国保育団体合同研究集会を開催しました。磐梯熱海（福島県郡山市）を会場に、ライブ配信を組み合わせ実施しました。集会テーマは「語りあおう子どものいのちと育ち 広げよう子育ての輪 つくりだそう平和な世界」でした。

今回の合研は、「ゆったり語りあい、みんなでつくる合研」をめざし、久しぶりの 3 日開催となりました。参加者は 7146 名でした。北海道から沖縄までの各地、海外からの参加者も合わせて 1200 名が会場に参加しました。久しぶりに出会う仲間と再会を喜び、じっくり語り合う姿が会場の至るところで見られました。

8 月 15 日～9 月 18 日まで講座の録画配信も行いました。8 月 15 日からの録画配信で、15 都府県で参加者が広がりました。録画配信初日には 3500 人以上が視聴し、動画視聴のために新たにサテライト会場を設け、みんなで視聴した地域も複数ありました。

各地域では、会場参加とサテライト会場や各園で集まったの視聴の両面から、主体的なとりくみを行いました。その結果、11 都県で自主目標を達成しました。福島から遠くても達成した県もあり、ハイブリッド形式ならではの参加者の広がりもありました。

7 月 29 日の全体会では、「コロナ禍の経験を土台に考える これからの保育・子育て一すべての子どもの豊かな育ちのため、共に学び、つながり、一步ふみだそう」と題して、保育・子育てフォーラムを、7 月 31 日の全体会では、太田啓子さん（弁護士）の「誰もが自分らしく生きられる社会をめざして」と題した記念講演を行いました。

分科会は 7 月 30 日、8 月 5 日、6 日に実施しました。23 都道府県 7 団体の力で、会場開催が 7 分科会、オンライン開催が 41 分科会の計 48 分科会の実施となりました。分科会での提案数も 116 本となり、世話人、運営・進行、提案者が協力して分科会を運営し、全国各地で学び合うことができました。全体会、講座、分科会を通して、「全国の保育に携わる人たちとのつながりを感じた」「自分の保育をふりかえることができた」「明日からの元気や希望をもらいました」「他ではなかなか聞けない大切な話が聞けることが合研の魅力だと思いました」などの感想が多く寄せられました。

第 55 回集会は、全国から実行委員会参加団体を募り、運営しました。全国各地から集まった実行委員は、連絡を取り合い、役割分担をしながら、みんなで力を合わせて開催準備・運営を行いました。「初めて合研の運営にかかわることができ、とても勉強になった」「また運営に携わりたい」ということばが実行委員から聞かれました。

第 56 回は、熊本での集会になります。熊本のみなさんを中心に、全国各地の知恵と力を結集して集会を行います。これからも厳しい保育状況は続いていくと考えられます。だからこそ、保育・子育てについて、保育者、保護者、研究者等が集い、対等な立場で語り合える合研は、その必要性・重要性がますます大きくなっています。全国の保育関係者の思いを集めて開催され、55 回の歴史を重ねてきた合研をますます充実したものにするために、学んだことを、各地・各園に広げ、参加に向けてのとりくみを始めていきましょう。

2023 年 9 月 30 日

第 55 回全国保育団体合同研究集会